

# 気候変動時代の 豪雨災害に備える

～西日本豪雨5年の歩みから学ぶ

写真提供：岡山県（『平成30年7月豪雨災害アーカイブ』より）

阪神・淡路大震災から生まれた災害対処のシンクタンク「ひょうご震災記念21世紀研究機構」、防災報道を重視してきた「朝日新聞社」、岡山県の地域報道を担う「山陽新聞社」は、2018年7月の西日本豪雨発生から5年を経過した節目に、被害が大きかった岡山県倉敷市・真備町を事例に、今後の豪雨災害への備えを注意喚起するシンポジウムを開催します。

日時

2024年1月27日(土)  
13:30～17:00

場所

山陽新聞社さん太ホール  
(岡山市北区柳町2-1-1)  
+YouTubeライブ配信

## プログラム

13:30～13:40 **開会挨拶** 朝日新聞社、山陽新聞社

13:40～14:40 **基調講演**



「気候変動と災害のメカニズムから、防災・減災を考える」

なかきた えいいち  
**中北 英一** (京都大学防災研究所 所長・教授)

気象レーダを用いた豪雨・洪水予測、気候変動による災害環境への影響評価に長年携わる。土木工学と気象学を融合した防災研究を牽引。

14:50～16:30 **パネルディスカッション**

テーマ「教訓を将来の災害にどう生かすか ～避難行動からまちづくりまで」

## パネリスト



きむら れお  
**木村 玲欧**

(兵庫県立大学環境人間学部教授)  
岡山県「平成30年7月豪雨」災害検証委員を務め、現在岡山県防災アドバイザー。



いとう かおり  
**伊東 香織** (岡山県倉敷市長)

豪雨災害時、市長として被災地の復旧復興の陣頭指揮を執る。



つだ ゆきこ  
**津田 由起子**

(市民防災グループ「チームサツキ」代表)  
真備町で避難機能付き共同住宅を整備運営。



ふるかわ かずひろ  
**古川 和宏** (山陽新聞社報道部副部長)

豪雨災害取材中、真備町の自宅も被災。自らの被災経験を発信。紙面で「まび日誌」を連載。

## パネルディスカッション・コーディネーター



みくりや たかし  
**御厨 貴**

(ひょうご震災記念21世紀研究機構研究戦略センター長／東京大学名誉教授)  
東日本大震災復興構想会議議長代理、復興庁復興推進委員会委員長代理等を歴任。

16:35～17:00 **総括**



ささき えいすけ  
**佐々木 英輔**

(朝日新聞社編集委員)

特集「災害大国」を担当。防災や環境の分野を取材。



いおきべ まこと  
**五百旗頭 真**

(ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長)

内閣府復興構想会議議長、復興庁復興推進委員会委員長等を歴任。

## 来場申込

**参加費無料、先着200人** (定員に達し次第、受付を終了します)

下記QRコードを読み込み、「来場申込フォーム」からお申し込みください。

来場申込URL : <https://forms.gle/hV47XjkCn12TQR5z7>

## オンライン視聴申込

下記QRコードを読み込み、「オンライン視聴申込フォーム」からお申し込みください。

(申込期限：1月26日(金)まで)

※当日ライブより2月5日(月)まで視聴可能。人数制限はありません。

視聴申込URL : <https://forms.gle/SXTBZSoUezStEC6HA>

※入力いただいた個人情報等は、事務局で適正に管理し、ご案内に関してのみ使用いたします。

## 会場案内



- ◆ 岡山空港より車で約30分
- ◆ JR岡山駅東口から徒歩15分(「市役所筋」を南へ下る) 路線バス5分(「山陽新聞社前」下車)



来場用QRコード



視聴用QRコード



お問い合わせ

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 人と防災未来センター東館 6F

TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122

E-mail : [gakujutsu@dri.ne.jp](mailto:gakujutsu@dri.ne.jp)

主催 朝日新聞社、ひょうご震災記念21世紀研究機構 共催 山陽新聞社

後援 内閣府政策統括官(防災担当)、総務省消防庁、岡山県、兵庫県、関西広域連合